

Market Watching

発表日: 2020年8月3日(月)

感染再拡大で回復への動きにブレーキがかかるのか(マーケットウィークリー)
 ~経済指標次第では、市場は想定外の景気回復躓きリスクを意識~

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
7月27日(月)	日本: 法人企業統計 (1-3月確報) ・設備投資 (除ソフト)	▲1.4%	—	+3.5%	前年比
	・経常利益	▲28.4%	—	▲32.0%	前年比
	ドイツ: ifo景気動向指数 (7月)	90.5	89.3	86.2	ポイント
	米国: 製造業受注 (6月) ・耐久財	+7.3%	+6.5%	+15.7%	前月比
7月28日(火)	・非国防資本財 (除航空機)	+3.3%	+2.4%	+1.6%	前月比
	米国: S&Pコアブティックケース住宅価格指数・20都市 (5月)	+3.7%	+4.1%	+4.0%	前年比
7月29日(水)	米国: 消費者信頼感指数 (7月)	92.6	96.3	98.1	ポイント
	米国: リッチメント連銀製造業指数 (7月)	+10.0	+5.0	0.0	ポイント
7月30日(木)	豪州: 消費者物価 (4-6月) ・総合	▲0.3%	▲0.5%	+2.2%	前年比
	・トリム平均	+1.2%	+1.3%	+1.8%	前年比
	米国: FOMC ・上限金利	0.25%	0.25%	0.25%	FF金利
7月31日(金)	・下限金利	0.00%	0.00%	0.00%	FF金利
	日本: 商業動態統計・小売業販売額 (6月)	▲1.2%	▲6.6%	▲12.5%	前年比
	ドイツ: 失業率 (7月)	6.4%	6.5%	6.4%	前年比
	ユーロ: 失業率 (6月)	7.8%	7.7%	7.4%	
7月31日(金)	米国: 新規失業保険申請件数 (7/25終了週)	1,434	1,450	1,416	千件
	米国: 実質GDP速報値 (4-6月期)	▲32.9%	▲34.0%	▲5.0%	前期比年率
	日本: 労働力調査・失業率 (6月)	2.8%	3.1%	2.9%	
	日本: 一般職業紹介状況・有効求人倍率 (6月)	1.11倍	1.14倍	1.20倍	
	日本: 鉱工業生産指数 (6月)	+2.7%	+0.9%	▲8.9%	前月比
	日本: 住宅着工戸数 (6月)	79.0	80.5	80.7	万戸
	日本: 消費動向調査・消費者態度指数 (7月)	29.5	—	28.4	ポイント
	中国: PMI製造業景気指数 (7月)	51.1	50.8	50.9	ポイント
	ユーロ: 実質GDP速報値 (4-6月期)	▲12.1%	▲12.0%	▲3.6%	前期比
	ユーロ: 消費者物価指数速報値 (7月) ・総合	+0.4%	+0.3%	+0.3%	前年比
	・コア	+1.2%	+0.8%	+0.8%	前年比
	米国: 個人所得支出統計 (6月) ・実質個人消費	+5.2%	+5.1%	+8.1%	前月比
	・PCEデフレータ	+0.8%	+0.9%	+0.5%	前年比
米国: シカゴ地区PMI (7月)	51.9	43.5	36.6	ポイント	
8月1日(土)	—				
8月2日(日)	—				

主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.528	▲6.1	▲4.3	▲176.7	0.147	0.171	0.817
日本	0.010	+0.0	▲2.0	+17.0	0.019	0.004	-0.025
ドイツ	-0.524	▲7.6	▲7.0	▲8.4	-0.461	-0.456	-0.398
豪州	0.815	▲5.1	▲5.5	▲37.0	0.884	0.904	1.001
株価							
NYダウ	26428.32	▲0.2	+2.4	▲1.6	26309	25390	26243
日経平均	21710.00	▲4.6	▲2.6	+0.9	22516	21577	21945
ユーロSTOXX50	3174.32	▲4.1	▲1.8	▲8.4	3310	3127	3342
上海総合	3310.01	+3.5	+10.9	+12.9	3264	3015	2961
為替相場							
ドル/円	105.83	▲0.3	▲1.9	▲2.7	106.81	107.20	108.26
ユーロ/円	124.75	+0.8	+2.9	+3.6	122.33	119.80	120.02
豪ドル/円	75.59	+0.2	+1.5	+1.5	75.00	72.64	72.51
ユーロ/ドル	1.1778	+1.0	+4.8	+6.3	1.145	1.118	1.109
商品市況							
WTI	40.27	▲2.6	+2.5	▲31.3	40.66	32.84	42.55
金	1962.8	+3.4	+9.0	+37.6	1843	1763	1633

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (7/27~7/31) の金融市場は、市場の事前予想通り欧米の4~6月期の経済成長率が記録的なマイナスとなったことが発表されるなか、引き続き新型コロナウイルスの感染動向に改善の兆しもなく、株などのリスク性資産は軟調な展開となった。株式市場では企業業績の発表が主材料となったが、コロナ禍で業績を伸ばした業種と、強い悪影響を受けた業種でそれぞれ際だった結果となったが、これも概ね市場の想定範囲内となった。このほか、米中関係の悪化や日本では感染者の増加傾向が加速気味となっていることなども市場の不安要素となった。米金利は一段と低下し、ドル円相場は一時1ドル=104円台をつける場面も見られた。

今週のマーケットは、米雇用統計など注目される経済指標が多く発表されるなか、年後半以降の景気の回復を意識する展開となろう。足元で発表が相次ぐ企業業績や、先週欧米で発表された4~6月期の経済成長率で、コロナ禍の“最悪の時期”の数字は詳らかとなり、市場の目は先行きの回復の様子を窺う格好となるはずだった。しかし、感染の拡大は期待したほどには収まらず、経済活動を優先しても思うように需要が回復してこないリスクに直面している。需要が持続的に回復していかないのであれば、政策で息継ぎをしている部分 (雇用や企業業績など) の悪化が表面化し、失業や倒産の急増に繋がるリスクがある。この夏場までに、多くの国はコロナ禍で経済活動を抑制する一方で、様々な経済対策を講じてきたが、夏場に入っても収まらない想定外の事態に、これらの対策効果が切れつつあるのが現状だ。そうした懸念が杞憂に終わるのか、いずれ現実化する可能性があるのか、それとも予想外に早く訪れてしまうのかを、今週から発表される7月分の経済統計から見極めることになる。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
8月3日(月)	日本：実質GDP（1-3月2次速報・改定値）	★	▲2.8%	▲2.2%	前期比年率
	日本：新車販売台数（7月）・乗用車	★	—	▲26.6%	前年比
	中国：財新PMI製造業景気指数（7月）	★★★★	51.1	51.2	ポイント
	米国：ISM製造業景気指数（7月）	★★★★	53.5	52.6	ポイント
	米国：自動車販売台数（7月）	★★	1,400	1,305	万台
8月4日(火)	日本：都区部消費者物価指数（7月）・総合 ・除生鮮食品		+0.3%	+0.3%	前年比
			+0.2%	+0.2%	前年比
	豪州：金融政策委員会	★	0.25%	0.25%	RBA政策金利誘導目標
8月5日(水)	タイ：金融政策委員会	★	0.50%	0.50%	翌日物レボ ^レ 金利
	ユーロ：小売売上高（6月）	★★	+6.3%	+17.8%	前月比
	米国：ADP雇用統計（7月）	★★★★	+1,200	+2,369	前月差、千人
	米国：貿易収支（6月）		▲500	▲546	億ドル
	米国：ISM非製造業景気指数（7月）	★★★★	55.0	57.1	ポイント
	ブラジル：金融政策委員会	★	2.00%	2.25%	政策金利（Selic）
8月6日(木)	インド：金融政策委員会	★	3.75%	4.00%	レボ ^レ レート
	英国：金融政策決定会合 ・資産購入ファシリティ	★	0.10%	0.10%	翌日物貸出金利
		★	7,450	7,450	億ポンド
	米国：チャレンジャー人員削減数（7月）	★★	—	+305.5%	前年比
8月7日(金)	米国：新規失業保険申請件数（8/1終了週）	★★★★	1,415	1,434	千件
	日本：毎月勤労統計（6月）・現金給与総額	★	▲3.0%	▲2.3%	前年比
	日本：家計調査（6月）・全世帯実質消費支出	★★	▲8.0%	▲16.2%	前年比
	日本：景気動向指数（6月）・CI一致指数 ・CI先行指数		+3.7pt	+0.7pt	前月差
			+6.4pt	▲6.7t	前月差
	中国：貿易統計（7月）・輸出	★★★★	▲1.2%	+0.5%	前年比
		★★★★	+1.0%	+2.7%	前年比
	米国：雇用統計（7月）・非農業就業者数	★★★★	+1,578	+4,800	前月差、千人
		★★★★	10.5%	11.1%	
		★★	+4.2%	+5.0%	前年比
8月8日(土)	—				
8月9日(日)	—				

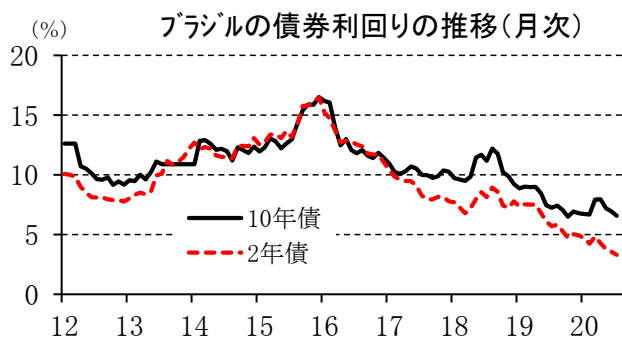
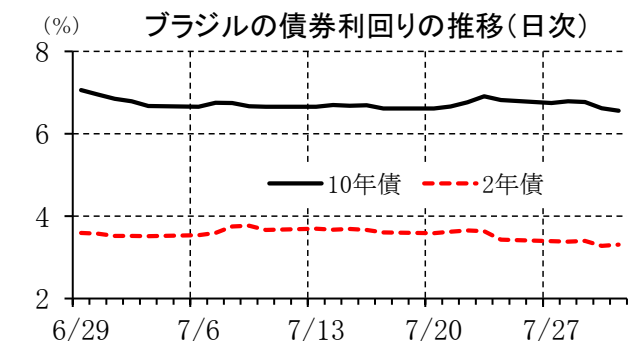
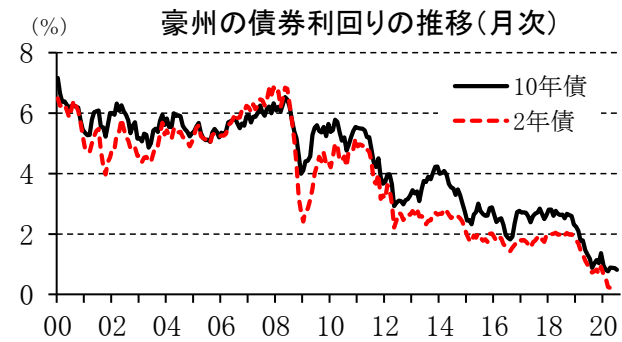
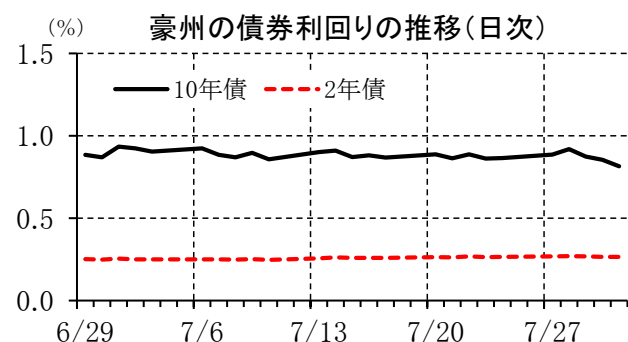
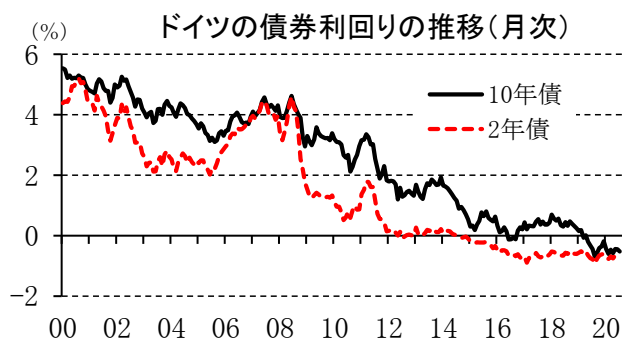
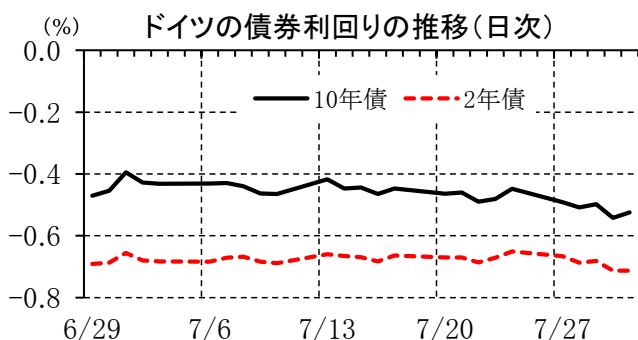
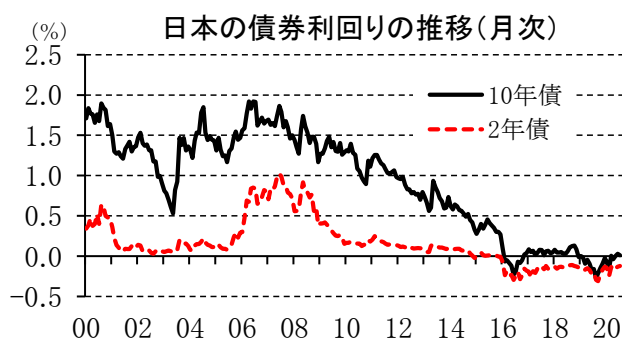
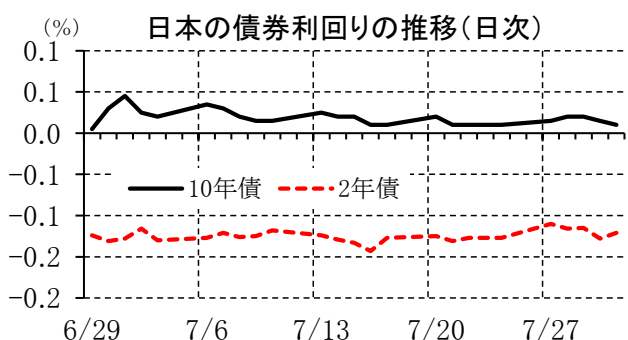
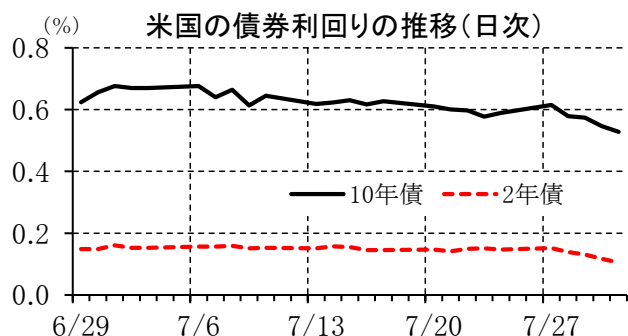
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

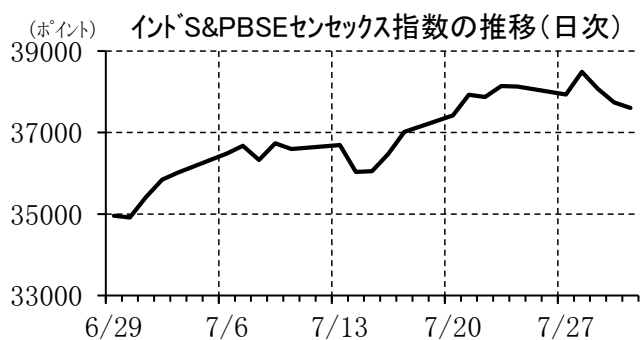
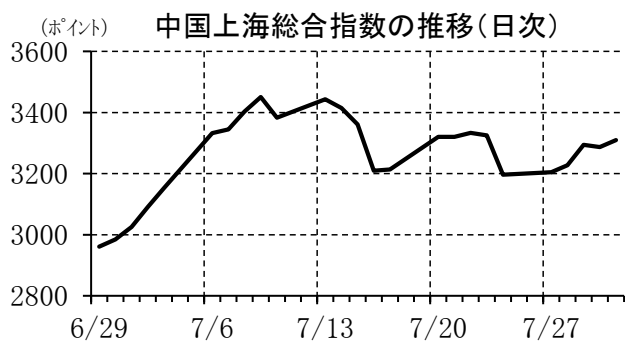
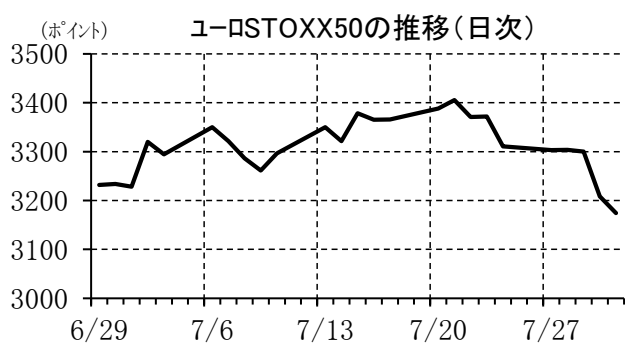
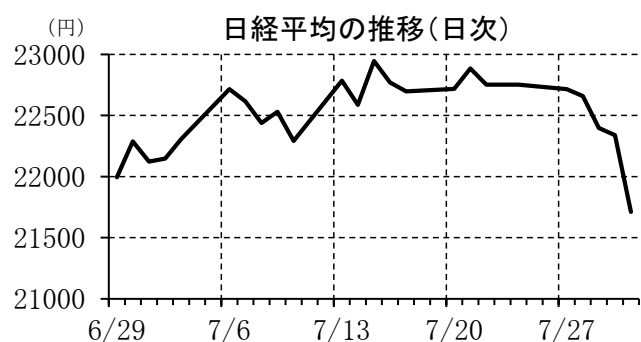
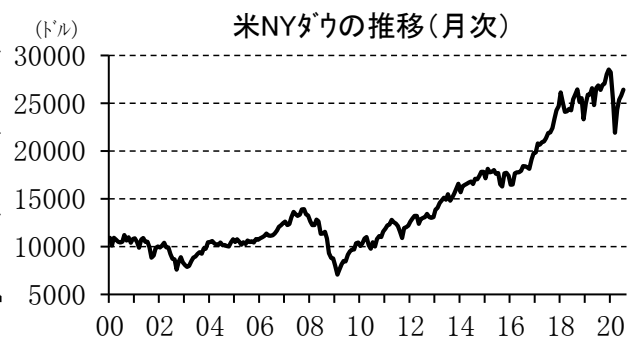
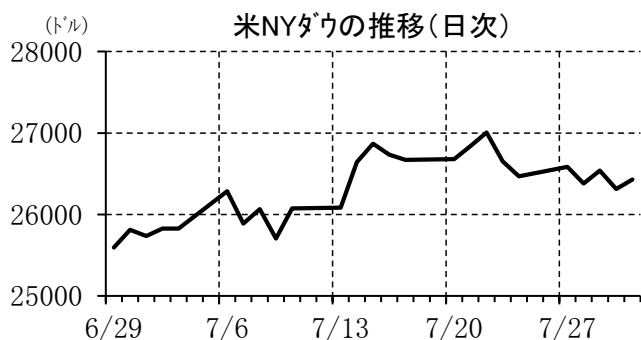
発表日	イベント	注目度	備考
8月3日(月)	—		
8月4日(火)	—		
8月5日(水)	日本：黒田日銀総裁・イエレン前FRB議長講演	★	
8月6日(木)	—		
8月7日(金)	—		
8月8日(土)	—		
8月9日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

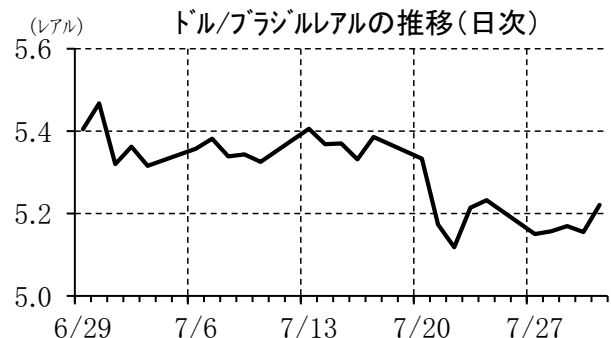
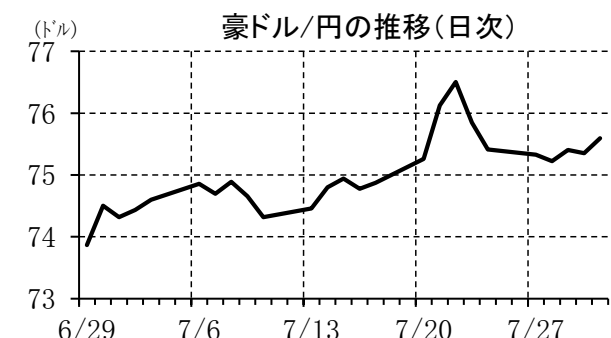
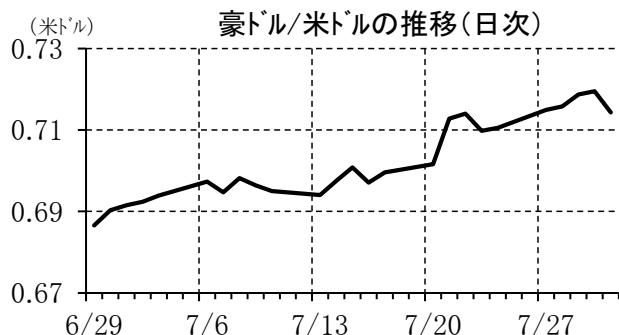
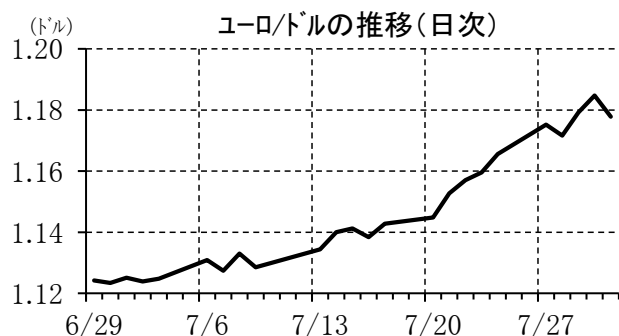
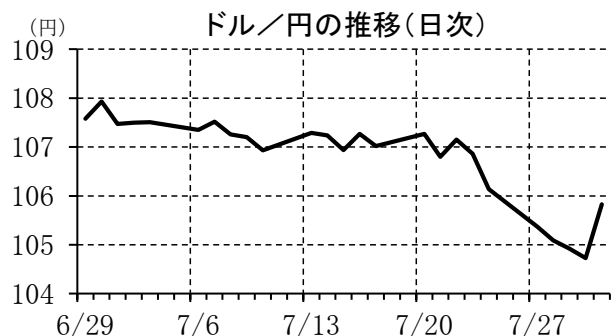
【債券利回り】



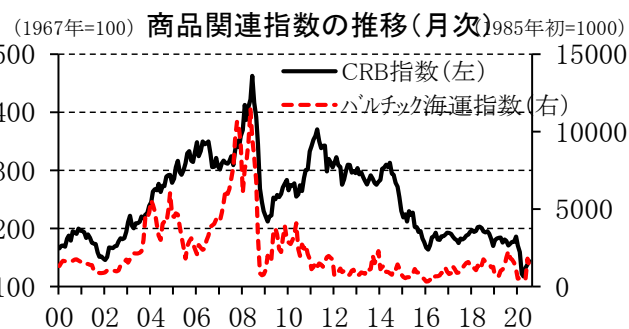
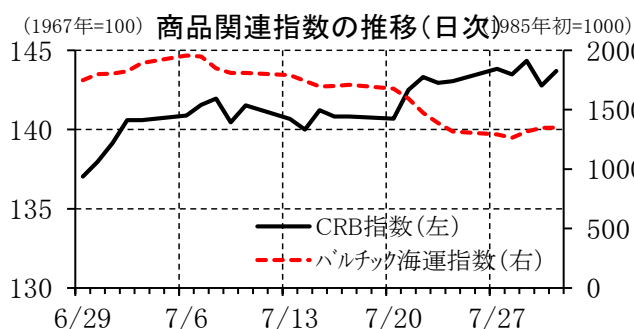
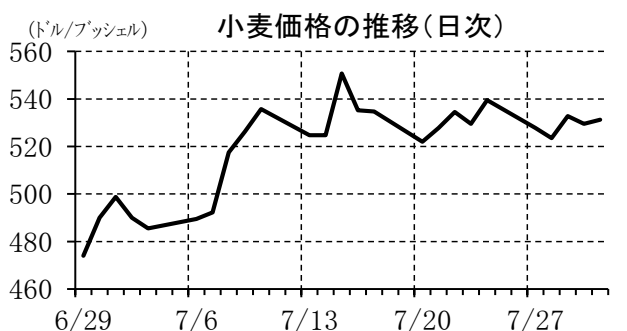
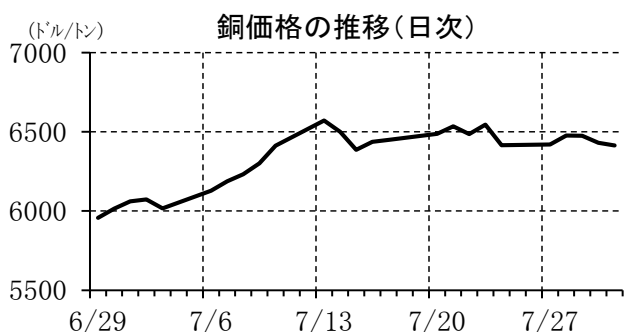
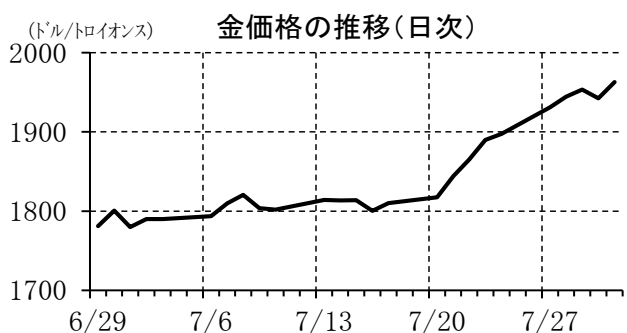
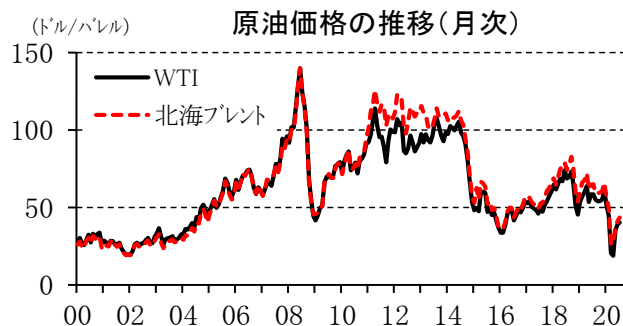
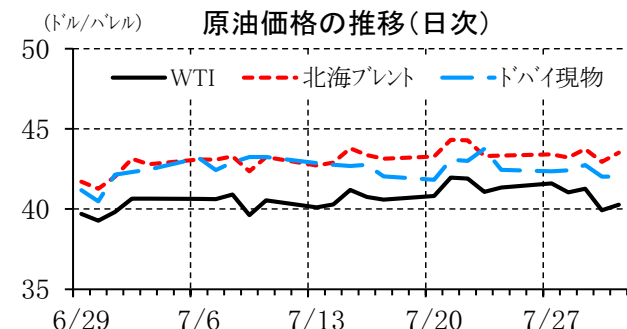
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。